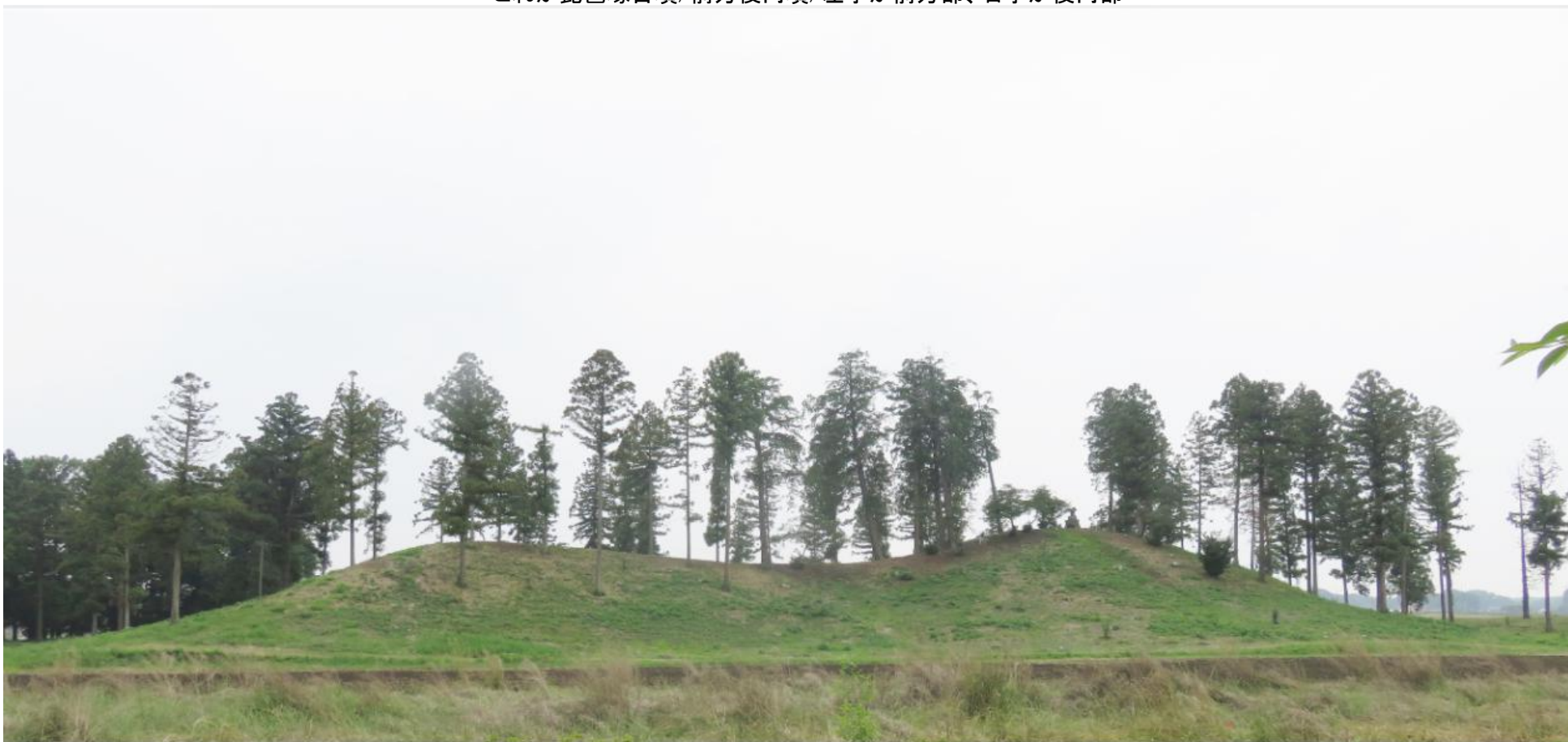


琵琶塚古墳(小山市)

これが琵琶塚古墳/前方後円墳/左手が前方部、右手が後円部



周溝の辺りで後円部から前方部方向に墳丘を見たところ



小祠が祀られている後円部墳頂で前方部方向を見たところ



後円部から「くびれ部」及び前方部を見たところ



振り返って後円部墳頂を見たところ



「くびれ部」辺りで前方部を見たところ



振り返って前方部から「くびれ部」及び後円部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



周溝の辺りで前方部から後円部方向に墳丘を見たところ



標柱と説明板が立っている



摩利支天塚古墳に続いて6世紀前半に築造された前方後円墳/後円部3段、前方部2段築成で二重の周溝が巡っている

史跡 琵琶塚古墳


琵琶塚古墳は県内最大の前方後円墳です。古墳の形状や出土した円筒埴輪などから、隣接する摩利支天塚古墳に次いで、6世紀の前半に築造されたものと考えられています。

墳丘は、自然地形の地ぶくれを利用して基壇を設け、さらに2段の土盛をすることによって構築されています。また、墳丘のまわりには幅およそ20mの壮大な周溝が存在しており、調査の結果、東側と南側では二重にめぐらされていることがわかりました。

琵琶塚古墳をはじめとし、思川、姿川の川筋には、強大な首長が葬られたと思われる大形古墳が散在しています。この地域は、遠く大和朝廷の時代に、下毛野国を代表する首長達の活躍の舞台となったことがうかがわれます。

墳形	前方後円墳	全長約123m
前方部	幅約70m	高さ約9m
後円部	直径約75m	高さ約11m

大正15年2月24日 国指定

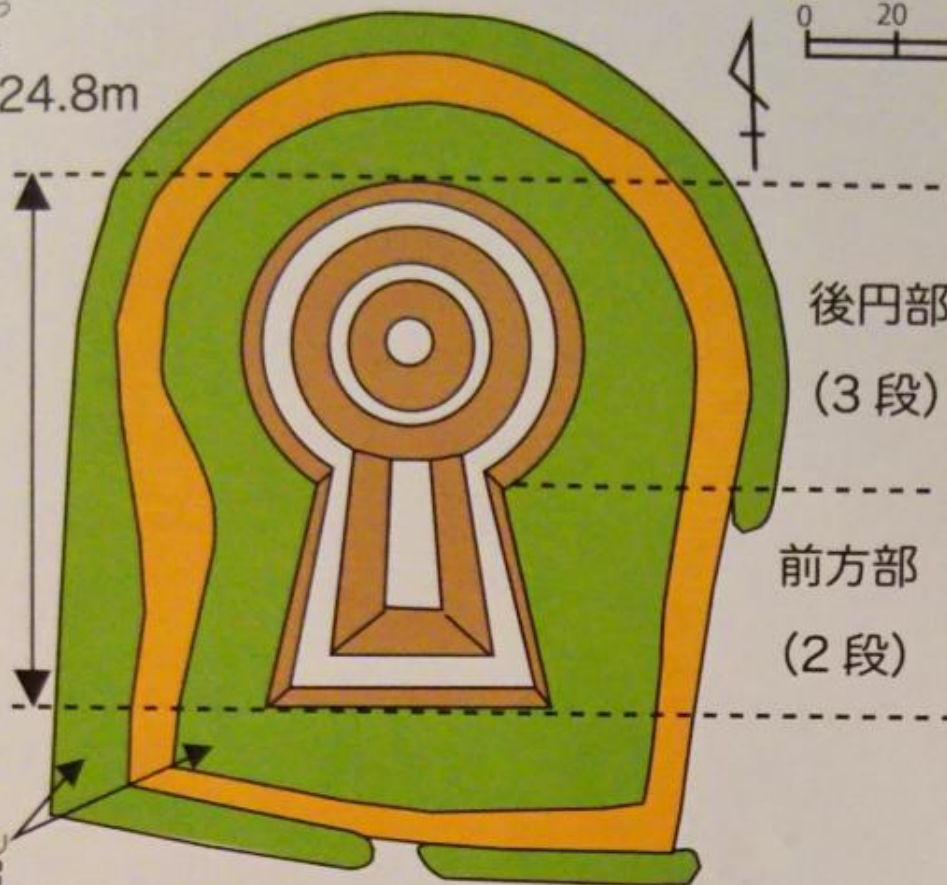
 栃木県教育委員会



琵琶塚古墳

ふんちよう
墳長
約 124.8m

0 20 40



後円部
(3段)

前方部
(2段)

しゅうほり
周堀

前方部から後円部方向に墳丘を見たところ



参考ホームページ

<https://kofunmeguri.hatenablog.com/entry/2018/09/18/000000>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12326723987.html>

<http://pennihonshi.blog.fc2.com/blog-entry-849.html>

